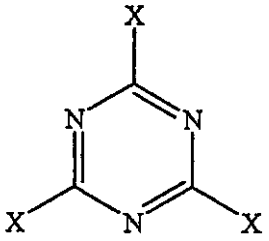
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成21年7月9日(2009.7.9)

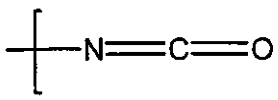
【公表番号】特表2008-546011(P2008-546011A)
【公表日】平成20年12月18日(2008.12.18)
【年通号数】公開・登録公報2008-050
【出願番号】特願2008-513682(P2008-513682)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　5/30　(2006.01)
Ｃ０８Ｋ　5/3492　(2006.01)
Ｃ０８Ｌ　1/08　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/1335　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/13363　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　23/20　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　23/22　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　5/30
Ｃ０８Ｋ　5/3492
Ｃ０８Ｌ　1/08
Ｇ０２Ｆ　1/1335　５１０
Ｇ０２Ｆ　1/13363
Ｇ０２Ｆ　1/1335
Ｂ３２Ｂ　23/20
Ｂ３２Ｂ　23/22

【手続補正書】
【提出日】平成21年5月22日(2009.5.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
光ディスプレイ装置において使用するための偏光板であって、前記偏光板が、
第１および第２の外面を有する偏光フィルム、ならびに
前記第１および第２の外面の少なくともいずれかの上に支持されるかまたは前記第１および第２の外面の少なくともいずれかに隣接する併用フィルム、
を含み、
前記併用フィルムが、架橋剤と架橋したセルロースを含み、前記セルロースが、セルロースエーテルおよびセルロースエステルからなる群から選択され、かつ前記架橋剤が、式
、

【化１】

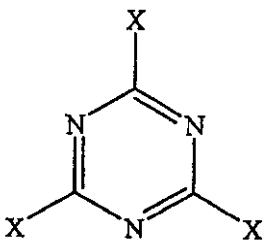


（式中、各Ｘは個々にフェニル基および－ＮＲ$_2$からなる群から選択され、ここで各Ｒは個々に水素、アルコキシアルキル基、カルボキシル基、アルコキシ基およびヒドロキシメチル基からなる群から選択され、そしてＸの少なくとも１つが－ＮＲ$_2$でかつＲの少なくとも１つがアルコキシアルキル基、カルボキシル基、アルコキシ基およびヒドロキシメチル基からなる群から選択される）
を有する、偏光板。
【請求項２】
各Ｘが－ＮＲ$_2$である、請求項１に記載の偏光板。
【請求項３】
各Ｒがアルコキシアルキル基、カルボキシル基、アルコキシ基およびヒドロキシメチル基からなる群から選択される、請求項１に記載の偏光板。
【請求項４】
各Ｘが－ＮＲ$_2$であり、かつ各Ｒがメトキシメチル基である、請求項３に記載の偏光板。
【請求項５】
光ディスプレイ装置において使用するための偏光板であって、前記偏光板が、
第１および第２の外面を有する偏光フィルム、ならびに
前記第１および第２の外面の少なくともいずれかの上に支持されるかまたは前記第１および第２の外面の少なくともいずれかに隣接する併用フィルム、
を含み、
前記併用フィルムが、架橋剤と架橋したセルロースを含み、前記セルロースが、セルロースエーテルおよびセルロースエステルからなる群から選択され、かつ前記架橋剤が、
式－ＯＲ’を有する少なくとも１つの基を含み、式中Ｒ’はアルキルであり、かつ、
エポキシ基および式、
【化２】



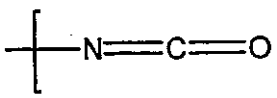
を有する基を含まない、偏光板。
【請求項６】
Ｒ’が、Ｃ$_2$－Ｃ$_4$アルキルからなる群から選択される、請求項５に記載の偏光板。
【請求項７】

前記偏光フィルムがポリビニルアルコールフィルムを含む、請求項１または５に記載の偏光板。
【請求項８】
前記セルロースがセルロースエステルを含む、請求項１または５に記載の偏光板。
【請求項９】
前記セルロースエステルがセルロースのC_1－C_{20}エステルを含む、請求項８に記載の偏光板。
【請求項１０】
前記セルロースエステルが、セルロースアセテート、セルローストリアセテート、セルロースアセテートフタレート、セルロースアセテートブチレート、セルロースブチレート、セルローストリブチレート、セルロースプロピオネート、セルローストリプロピオネート、セルロースアセテートプロピオネート、カルボキシメチルセルロースアセテート、カルボキシメチルセルロースアセテートプロピオネート、カルボキシメチルセルロースアセテートブチレート、セルロースアセテートブチレートサクシネート、セルロースプロピオネートブチレート、およびこれらの混合物からなる群から選択される、請求項８に記載の偏光板。
【請求項１１】
前記併用フィルムが、保護フィルム、補償フィルム、およびこれらの混合物からなる群から選択される、請求項１または５に記載の偏光板。
【請求項１２】
前記併用フィルムが前記第１および第２の外面の少なくともいずれかの上に接着剤を介して支持されている、請求項１１に記載の偏光板。
【請求項１３】
前記併用フィルムが前記第１および第２の外面の少なくともいずれかに接着剤を使用することなく隣接している、請求項１１に記載の偏光板。
【請求項１４】
前記架橋剤がトリアジン架橋剤を含む、請求項５に記載の偏光板。
【請求項１５】
光ディスプレイ装置において使用するための偏光板を形成する方法であって、該方法が、
第１および第２の外面を有する偏光フィルムを準備すること、ならびに
併用フィルムを前記第１および第２の外面の少なくともいずれかに適用すること、
を含み、
前記併用フィルムが、架橋剤と架橋したセルロースを含み、前記セルロースが、セルロースエーテルおよびセルロースエステルからなる群から選択され、かつ前記架橋剤が、式、
【化３】



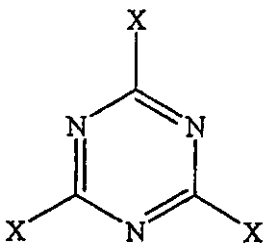
（式中、各Ｘは個々にフェニル基および－NR_2からなる群から選択され、ここで各Ｒは個々に水素、アルコキシアルキル基、カルボキシル基、アルコキシ基およびヒドロキシ

メチル基からなる群から選択され、そしてＸの少なくとも１つが－ＮＲ$_2$でかつＲの少なくとも１つがアルコキシアルキル基、カルボキシル基、アルコキシ基およびヒドロキシメチル基からなる群から選択される）
を有する、方法。
【請求項１６】
各Ｘが－ＮＲ$_2$である、請求項１５に記載の方法。
【請求項１７】
各Ｒがアルコキシアルキル基、カルボキシル基、アルコキシ基およびヒドロキシメチル基からなる群から選択される、請求項１５に記載の方法。
【請求項１８】
各Ｘが－ＮＲ$_2$であり、かつ各Ｒがメトキシメチル基である、請求項１７に記載の方法。
【請求項１９】
光ディスプレイ装置において使用するための偏光板を形成する方法であって、前記方法が、
第１および第２の外面を有する偏光フィルムを準備すること、ならびに
併用フィルムを前記第１および第２の外面の少なくともいずれかに適用すること、
を含み、
前記併用フィルムが、架橋剤と架橋したセルロースを含み、前記セルロースが、セルロースエーテルおよびセルロースエステルからなる群から選択され、かつ前記架橋剤が、
式－ＯＲ’を有する少なくとも１つの基を含み、式中Ｒ’はアルキルであり、かつ、
エポキシ基および式、
【化４】



を有する基を含まない、方法。
【請求項２０】
Ｒ’が、Ｃ$_2$－Ｃ$_4$アルキルからなる群から選択される、請求項１９に記載の方法。
【請求項２１】
前記偏光フィルムがポリビニルアルコールフィルムを含む、請求項１５または１９に記載の方法。
【請求項２２】
前記セルロースがセルロースエステルを含む、請求項１５または１９に記載の方法。
【請求項２３】
前記セルロースエステルがセルロースのＣ$_1$－Ｃ$_{20}$エステルを含む、請求項２２に記載の方法。
【請求項２４】
前記セルロースエステルが、セルロースアセテート、セルローストリアセテート、セルロースアセテートフタレート、セルロースアセテートブチレート、セルロースブチレート、セルローストリブチレート、セルロースプロピオネート、セルローストリプロピオネート、セルロースアセテートプロピオネート、カルボキシメチルセルロースアセテート、カルボキシメチルセルロースアセテートプロピオネート、カルボキシメチルセルロースアセテートブチレート、セルロースアセテートブチレートサクシネート、セルロースプロピオネートブチレート、およびこれらの混合物からなる群から選択される、請求項２２に記載

の方法。
【請求項２５】
前記併用フィルムが、保護フィルム、補償フィルム、およびこれらの混合物からなる群から選択される、請求項１５または１９に記載の方法。
【請求項２６】
前記併用フィルムが前記第１および第２の外面の少なくともいずれかの上に接着剤を介して支持されている、請求項２５に記載の方法。
【請求項２７】
前記併用フィルムが前記第１および第２の外面の少なくともいずれかに接着剤を使用することなく隣接している、請求項２５に記載の方法。
【請求項２８】
前記架橋剤がトリアジン架橋剤を含む、請求項１９に記載の方法。
【請求項２９】
光ディスプレイ装置において使用するための組成物であって、前記組成物が、架橋剤、ならびに、セルロースエーテルおよびセルロースエステルからなる群から選択されるセルロース、を溶媒系中に分散または溶解させて含み、前記組成物が、厚み０．５から１５ｍｉｌを有する硬化フィルムに形成されたときに、波長４００から７００ｎｍを有する光の少なくとも８０％を透過させることができ、前記架橋剤が式、
【化５】



（式中、各Ｘは個々にフェニル基および－NR_2からなる群から選択され、ここで各Ｒは個々に水素、アルコキシアルキル基、カルボキシル基、アルコキシ基およびヒドロキシメチル基からなる群から選択され、そしてＸの少なくとも１つが－NR_2でかつＲの少なくとも１つがアルコキシアルキル基、カルボキシル基、アルコキシ基およびヒドロキシメチル基からなる群から選択される）
を有する、組成物。
【請求項３０】
前記セルロースがセルロースエステルを含む、請求項２９に記載の組成物。
【請求項３１】
前記セルロースエステルがセルロースのC_1－C_{20}エステルを含む、請求項３０に記載の組成物。
【請求項３２】
前記セルロースエステルが、セルロースアセテート、セルローストリアセテート、セルロースアセテートフタレート、セルロースアセテートブチレート、セルロースブチレート、セルローストリブチレート、セルロースプロピオネート、セルローストリプロピオネート、セルロースアセテートプロピオネート、カルボキシメチルセルロースアセテート、カルボキシメチルセルロースアセテートプロピオネート、カルボキシメチルセルロースアセテートブチレート、セルロースアセテートブチレートサクシネート、セルロースプロピオネートブチレート、およびこれらの混合物からなる群から選択される、請求項３０に記載

の組成物。
【請求項３３】
各Ｘが－ＮＲ$_2$である、請求項２９に記載の組成物。
【請求項３４】
各Ｒが、アルコキシアルキル基、カルボキシル基、アルコキシ基およびヒドロキシメチル基からなる群から選択される、請求項３３に記載の組成物。
【請求項３５】
各Ｘが－ＮＲ$_2$であり、かつ各Ｒがメトキシメチル基である、請求項３４に記載の組成物。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
（式中、各Ｘは個々にフェニル基および－ＮＲ$_2$からなる群から選択される）を有する。各Ｒは個々に水素、アルコキシアルキル基、カルボキシル基およびヒドロキシメチル基からなる群から選択される。他の態様において、Ｘの少なくとも１つが－ＮＲ$_2$であり、そして、Ｒの少なくとも１つがアルコキシアルキル基、カルボキシル基およびヒドロキシメチル基からなる群から選択される。